

- 問1 1221年、鎌倉幕府の混乱に乗じて朝廷の権力を取り戻そうとした後鳥羽上皇が、幕府を倒すために兵を挙げた出来事を何とといいますか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 承久の乱                      2. 平治の乱                      3. 応仁の乱                      4. 保元の乱
- 問2 鎌倉幕府において、源頼朝の死後に北条氏が世襲した、将軍を補佐して幕政を統括する最高職の名称として正しいものはどれか。 (2023年 石川県公立入試 類似)
1. 連署                      2. 管領                      3. 六波羅探題                      4. 執権
- 問3 鎌倉時代において、将軍が御家人の先祖伝来の所領を保障したり、手柄に対して新たな土地を与えたりする一方で、御家人が軍役や京都・鎌倉の警備といった義務を果たすことで成立していた主従関係を何とといいますか。 (2020年 岡山県公立入試 類似)
1. 寄進地系荘園                      2. 守護・地頭の設置                      3. 御恩と奉公                      4. 封建社会の身分制
- 問4 鎌倉時代に起こった承久の乱の背景や経過について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 大分県公立入試 類似)
1. 後醍醐天皇が幕府を倒そうと兵を挙げ、足利尊氏や新田義貞の協力により、日本では貴族を中心に優雅な国風文化が全盛期を迎えた。
2. 源頼朝の死後、北条氏が実権を握ったことに反発した平氏の残党が、西国で反乱を起こして幕府軍と戦った。
3. 後鳥羽上皇が幕府を倒そうと兵を挙げたが、北条政子の呼びかけに団結した御家人らの大軍によって幕府側が勝利した。
4. 将軍の跡継ぎ問題をきっかけに守護大名が二つの勢力に分かれて争い、京都を中心に11年に及ぶ戦乱が続いた。
- 問5 運慶や快慶によって東大寺南大門の金剛力士像が制作された13世紀前半、アジア大陸では新たな勢力が急速に台頭していました。当時の日本文化の背景と国際情勢の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2024年 神奈川県公立入試 類似)
1. 大陸では唐が滅亡して混乱が続いており、日本では貴族を中心に優雅な国風文化が全盛期を迎えた。
2. 大陸では秦の始皇帝が統一を果たしており、日本ではそれに対抗するために写実的な彫刻が作られた。
3. 大陸では宗教改革による対立が激化しており、日本では阿弥陀如来への信仰が武士の間に浸透した。
4. 大陸ではモンゴル帝国が勢力を拡大しており、日本では武士の好みに合った写実的で力強い文化が栄えた。
- 問6 鎌倉時代の社会において、女性が「地頭」に任命され、領地を管理する事例が見られた理由を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 女性が仏教の教えに基づいて貧しい人々を救済する役割を担い、幕府からその功績を認められたため。
2. 承久の乱の後に人手不足となり、幕府が緊急措置として女性を地頭に登用する制度を作ったため。
3. 親の所領を女子にも分けて相続させる慣習があり、所領を受け継いだ女性がその土地の地頭職を担ったため。
4. すべての土地を長男一人が継ぐ単独相続が基本であり、男子がいない場合のみ特例として女子が任命されたため。
- 問7 鎌倉時代、将軍と御家人の間には土地を仲立ちとした主従関係がありました。将軍が御家人の領地支配を認めたり、手柄に対して新たな土地を与えたりすることを「御恩」と呼びますが、対して御家人が戦時に軍役を果たしたり、幕府の警護を行ったりする義務を何と呼びますか。 (2024年 沖縄県公立入試 類似)
1. 役事                      2. 公事                      3. 寄進                      4. 奉公
- 問8 鎌倉時代に広まった臨済宗などの禅宗が、特に武士階級の間で広く受け入れられた理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 自らの厳しい修行によって悟りを開こうとする教えが、武士の精神修養に適していたため
2. 阿弥陀如来を信じて念仏を唱えるだけで救われるという平易な教えが、忙しい武士に好まれたため
3. 加持祈祷によって現世の利益や国家の安泰を願う儀式が、武家政権の安定に不可欠だったため
4. 南無妙法蓮華経の題目を唱えることで救われるという教えが、団結を重んじる武士の気風に合ったため
- 問9 源頼朝が1185年に守護・地頭を設置する権利を認めさせ、1189年に奥州藤原氏を滅ぼしたことによって達成された、歴史的な意義として最も適切な説明はどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
1. 朝廷から政権を完全に奪取し、天皇に代わって新しい法律を制定した。
2. 平氏を滅ぼした後、軍事・警察権を背景として全国的な支配体制を固めた。
3. 上皇による院政を停止させ、貴族による政治を完全に終了させた。
4. 東北地方の金などの資源を独占し、宋との貿易を拡大させた。
- 問10 1232年、鎌倉幕府の3代執権である北条泰時が、日本で最初の武家法を制定しました。この法令を制定した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 土地をめぐる争いなどに対し、武士の慣習に基づいた公平な裁判の基準を定めるため
2. 聖徳太子が役人の心得を示したように、仏教の教えを政治の基本に据えるため
3. 江戸幕府が全国の大名を統制し、許可なく城を修繕することを禁止するため
4. 足利尊氏が新しい政治の方針を示し、京都の公家社会のルールを武士に強制するため
- 問11 鎌倉時代の御家人の相続について記した記録によると、代を重ねるごとに領地を複数の子に分け与える慣習が続けられていました。このような相続方法が、幕府の支配体制に与えた大きな影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
1. 相続争いを防ぐために幕府がすべての所領を没収したため、御家人は地頭としての権利を失い、公家が再び土地を支配した。
2. 土地の所有権が実力のある庶子に集中したため、惣領を中心とした一族のシステムが崩壊し、農業生産力が向上した。
3. 一族の団結力が強まったことで惣領の権限が拡大し、幕府の統制を受けずに独自の軍事行動をとるようになった。
4. 領地が細分化されたことで個々の御家人の経済力が低下し、幕府への奉仕である軍役を果たすことが困難になった。
- 問12 鎌倉新仏教の一つで、特定の姿勢で座り精神を統一する「座禅」を修行の根幹とし、鎌倉幕府の保護を受けて発展した宗派を次の中から選りなさい。 (2017年 和歌山県公立入試 類似)
1. 禅宗                      2. 浄土真宗                      3. 浄土宗                      4. 日蓮宗
- 問13 平安時代から鎌倉時代初期にかけての出来事である、坂上田村麻呂による東北地方への派遣、平将門による関東での反乱、源頼朝による奥州藤原氏の滅亡を、発生した時期の古い順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 平将門の反乱 → 坂上田村麻呂の派遣 → 源頼朝による奥州藤原氏の滅亡
2. 坂上田村麻呂の派遣 → 源頼朝による奥州藤原氏の滅亡 → 平将門の反乱
3. 源頼朝による奥州藤原氏の滅亡 → 平将門の反乱 → 坂上田村麻呂の派遣
4. 坂上田村麻呂の派遣 → 平将門の反乱 → 源頼朝による奥州藤原氏の滅亡